



学校だより NO. 12
令和4年 8月30日
帯広市立広野小学校
文責 校長 新川 和範

Obihiro City Hirono Elementary School



4名の実習生の先生方が来ました



8月29日(月)から、将来、小学校の先生を目指している4名の大学生の実習生のみなさんをお迎えしました。金曜日まで、4名のみなさんは、1, 2年、3, 4年、5, 6年の各学級に分かれて、先生の卵として、授業の流れや生徒指導などについて、学んでいきます。

初日は、出勤した後、教頭先生の説明を受けたり、校舎の見学をしたりしました。

1時間目が終わった後、全校児童に体育館へ集ってもらい、歓迎の集会を行いました。4名の実習生のみなさんから自己紹介があった後、児童を代表して会長の合歓垣さんが歓迎の言葉を述べました。

その後は、所属する学級で授業参観をしたり、学校組織や教育活動について学んだりしました。

さらに給食後は、児童とともに清掃活動を行ったり、学童の様子を見学したりと精力的にスケジュールをこなしていきました。

盛りだくさんな一日ではありましたが、4名の実習生のみなさんは、終始笑顔で乗り切ってくれました。残りの日々も、広野小学校や児童の良いところをたくさん学びつつ、自身のスキルアップを目指して取り組んでほしいと思っています。

以下、4名のみなさんに①**自分の強みは？**、②**学級で初めて児童に会った時にまず伝えたいことは？**、③**今、大学では何を学んでいますか？**の3点について、インタビューに答えてもらっていますので、その内容について紹介します。

木村 唯菜 先生「①**1つは、明るい性格のところですか。常に誰に対しても笑顔を大切にしています。もう1つは、8歳の頃からバドミントンに取り組んできましたので、そのおかげで球技が得意であり、体を動かすことが好きなのところですか。**②**運動を行う中で一番学んだこととして、人との関わり上、礼儀を大切にしてほしいということですか。**③**経済学について中心に学ぶ大学であることから、先生になるための学習は、経済の学習の隙間をめてって行っています。」**



住田奈津子 先生「①**笑顔です。笑顔が人付き合いとして大切だと思っています。教育でも笑顔は大切で、児童や保護者、地域の皆様と笑顔で接することによって、信頼関係を深めていけると思っています。**②**人に優しく、傷つけないことを伝えたいです。いじめは良くないこと、人を傷つけないことを大切にしてほしいと伝えたいと思っています。**③**小学校の先生になるための学習を中心に、複式や学級経営についても学んでいきたいと考えています。」**



渡名喜 舞 先生「①**何事にも恐れず、挑戦するところですか。また、地元を離れ遠方より単身で大学に入学して、様々なことに挑戦しているところですか。**②**言葉遣いの大切さについて伝えたいと思っています。言葉が人を傷つける凶器とならないよう、相手の気持ちを考えて行動することを伝えたいです。また、1歩踏み出す勇気を伝えたいです。**③**小学校の教員を目指して大学で勉強していることに加えて、地域に出てイベントに参加したり活動したりして、学校を中からだけでなく、外からも見ることもできる教員を目指して行動しています。」**



伊達崎 凜 先生「①**明るいこと、人見知りしないところですか。**②**今まで色々な習い事や部活動等を経験してきたことを生かして、子どもたちに色々な挑戦をしてほしいと背中を押してあげる言葉をかけたいと思っています。**③**小学校の教員を目指して学習しています。また英語が苦手なので、英語に関する学習を行っています。そして、将来、子どもたちが英語のことを好きになるように教えることができたらと思っています。」**



実習生の先生方、インタビューにご協力、ありがとうございました。1週間よろしくお願ひします。